

らんらんプロジェクト'19採択一覧

整理番号	プロジェクト名称	代表者所属・氏名	目的	実施時期	R1年申請額	R1年採択額
1	発達障害の映画を観る会3作品映画無料上映会プロジェクト2019-2020	情報電子工学系学科・佐藤公治	発達障がいを持つ方は、その他の障がいと異なり、一見障がいがあるように見えないため本人の努力不足によって様々な物事に上手く取り組めないと感じてしまうことが多いといえます。そのため、発達障がいを持つ人の中には日頃、生きづらさを抱えている人がいます。近年、発達障がいを取り扱ったテレビや新聞などが増えつつありその認知度は上昇しつつありますが、まだまだ発達障がいについて関心を持った人だけが理解を深めようとしているのが現状です。これを改善していくには、多くの人に発達障がいへの関心を持ってもらう必要があります。そこで、発達障がいについて扱った映画の無料上映会を開催することで発達障がいに関する知識を広く学内外に発信し、少しでも良い社会を築ききっかけを作ることを目的としています。	2020年1月下旬～2月初旬までを予定	218,000	198,000
2	室工大生主催『楽しく学ぼう、科学教室』	環境創生工学系専攻・遠藤幹大	市内の小学生向けの科学教室の開催 昨年より登別立正学園の運営する白菊アフタースクールで室蘭工業大学生有志による科学教室が年4回を目安に企画されている。 『科学』という分野に対して小学生にも分かりやすく、しかし、しっかりと原理を説明した上で実際に触れ、体験することで興味や関心を引き出す場を提供することが目的である。さらに勉強に対する意欲や進路を考える段階で大学というものを考えるきっかけになることを期待している。 既に、評価の高いパッケージになりつつあるので、今年度は白菊アフタースクールの40名の他、登別立正学園の約250名の園児や周辺市内の小学校、工大祭などでの開催も視野に入れたい。	夏の科学教室:8月中旬 秋の科学教室:11月 冬の科学教室:1月	120,000	110,000
3	Christmas Illumination Project	応用理化学系学科・三川那雄斗	クリスマスに大学構内をイルミネーションで彩ることにより、冬期の学内の府に気をにぎやかにする。また近隣の方々にもクリスマスの雰囲気を楽しんでいただく事を目指す。大学外の方にも気楽に訪れていただき、より地域とのつながりを強くすることを目的とする。	2019年11月下旬～2020年1月上旬の間の1週間 実施時刻 17:00～22:00	45,000	45,000
4	MITSat	機械航空創造系・安川慧	人工衛星を開発するための地上試作機(MITSat)の開発 私たちはすでにMITSat1号機を完成させている 今回ではその2号機の開発を目的とする 今回の申請は2号機開発に関係するものである	2019年6月～2020年2月	120,000	110,000
5	SARD CanSat 開発プロジェクト「dalomedes」	機械航空創造系学科・横山基世	CanSatと呼ばれる小型模擬人工衛星の製作をすることで宇宙開発の一連の流れを体験することを目的とする。学生主体で製作を行うことで、プロジェクトマネジメント能力を養う。さらに、CanSat政策には最適設計とシステムエンジニアリング能力、実証性が要求されるため、大学の講義だけでは得ることの出来ない実践的なものづくり技術の獲得を目指す。また、能代宇宙イベントや種子島ロケットコンテスト、アメリカで開催されるARLISSなどのCanSatの大会への参加をして各大会での入賞を目指す。大会参加を通して他大学や他国の学生との技術交流を行い、今後の製作活動へのフィードバックをすることを目指す。	2019年4月～2019年10月	161,000	132,000
6	JSBC2019 室蘭工業大学	環境創生工学系専攻・名須川駿	我々の構造力学研究室は、毎年ジャパンスチールブリッジコンペティション(JSBC)という大会で好成績を残してきた。その経験を元に、今年度からは土木工学コースの学生を対象として、橋梁模型を作成する講座を開くことにより、多くの学生の土木工学への関心を高めるとともに、基本的な工学知識の応用力、問題解決能力、協調性、参加者間の交流を図ることを目的としている。 講座ではJSBCの大会のルールに則り、鋼製橋梁模型を有限解析や裁荷実験を行い橋梁模型の設計・作製をし、完成した橋梁でJSBC2019大会に出場する。	6月上旬～8月30日 設計:6月上旬～7月中旬 製作・架設練習:7月中旬～8月 大会:8月28～30日	139,000	139,000
7	大学と地域を結ぶ高砂5丁目公園プレーパーク2019	環境創生工学系専攻・杉村崇斗	本プロジェクトでは、学生間の交流及び大学と地域住民の交流を図り、地域課題解決や、住民にとってより良い地域づくり(地域の魅力創出)の一助を担うことを目的とする。 そのために本プロジェクトでは、本学に隣接する高砂5丁目公園内にてプレーパーク(子どものための自由な手作りの遊び場)を作ることで、公園周辺に住む子ども達の屋外や自然の中での遊びや学習の場を創出すること等が期待される。また、プレーパークの企画・運営により、学生同士の交流の場の提供と共に、大学・地域住民・地元店舗・地元の学校間での交流を促進することにより、新たなコミュニティの形成や、地域の事を考えられるような人材が育成される等の効果が期待される。	「夏のプレーパーク」:7月初旬予定 「秋のプレーパーク」:11月初旬予定	250,000	236,000
合 計					1,053,000	970,000